

オピニオン opinion

木曜日は… 第1週 福島復興論 第2週 政界人物評論 第3週 大災害の時代 第4週 月刊時論フォーラム

福島復興論

全確保です。しばらくして福島の地場産業、繊維産業の復興のために「がんばろう福島」プロジェクトを、福島県出身のあじ社長、矢内さんらの協力で始めました。ニットやシルク関係の応援ですが、地元の色ざんは意外に大丈夫そうなので1年でやめました。それが私の復興支援のスタートでした。

福島の長期にわたる復興を支えるには人材の育成が必須だ。逆境の地から10年、20年先のリーダー育成をめざす「ふくしま復興塾」の実行委員長、加藤敏敏さんと、被災地の復興リーダーを支える「右腕」の派遣を進める山内幸治さんと、活動の経緯や若者への期待を話し合ってもらった。(本文・敬称略) 【聞き手・冠木雅夫専門編集委員、写真は竹内幹一】

対談

山内 幸治さん

被災地に「右腕」を派遣 NPO法人ETIC、理事

やまうち・こうじ 1976年横浜市生まれ。早稲田大教育卒。在学中からETICの事業化に参画。97年に起業家育成に向けた長期実践型インターンシップ創設。2000年のNPO法人化に伴い事業統括ディレクター。11年の震災後、被災地の復興リーダー支援のための「右腕派遣」事業開始。13年より現職。



加藤 博敏さん

「ふくしま復興塾」実行委員長 ビーエイ社長

かとう・ひろとし 1958年福山市生まれ。福島大経済卒業後、資生堂入社。86年に有限会社ビーエイを設立し社長に。90年に株式会社化。2000年東証マザーズ上場。東北・信越や首都圏で紙媒体やネットによる就職情報サービスや人材派遣を行う。13年「ふくしま復興塾」を発足させ人材育成にあたる。



「逆境の地で人材育てる」

日本のリーダー育てたい 語り合う出会いの場作る

「右腕」の派遣という発想は どういうきっかけで?

【山内】 避難所では徐々にリーダーシップを養育する人が出てきます。すると、地元の人々も外からの支援の声もその人に殺到してしまう。その結果、リーダーが手いっぱいになり、すべてが回らなくなってしまおうの「右腕」を支える右腕の派遣が必要だと考えたのです。

6月ごろから宮城、岩手と広げていきましたが、福島の場合はガイドラインを作ったり、地元の人材を確保したりして翌12年4月からの派遣となりました。

【加藤】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【山内】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

「右腕」の派遣という発想は どういうきっかけで?

【加藤】 避難所では徐々にリーダーシップを養育する人が出てきます。すると、地元の人々も外からの支援の声もその人に殺到してしまう。その結果、リーダーが手いっぱいになり、すべてが回らなくなってしまおうの「右腕」を支える右腕の派遣が必要だと考えたのです。

6月ごろから宮城、岩手と広げていきましたが、福島の場合はガイドラインを作ったり、地元の人材を確保したりして翌12年4月からの派遣となりました。

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 復興には人の出会いの場が大きいようですね。

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

【加藤】 例えば右腕派遣で福島に来た菅元元志君は会社を設立し、スマートフォンによる子ども

【山内】 復興塾1期生で頑張っている人が出てくるようですよ。

「右腕派遣」プログラム

起業家・社会起業家を育成・支援するNPO法人ETIC。(宮城治男代表理事)が震災を機に始めた復興リーダー支援事業。リーダーを支える人材を「右腕」と呼び、1年間の長期ボランティアとして派遣。人件費として月約15万円はETICが負担。これまで計187人(うち福島県内には35人)を派遣した。30歳前後の若者が中心で大手や外資系企業からの応募も多い。

ふくしま復興塾

福島県に縁のある経営者らが発起人となり、福島大学つくしまふくしま未来支援センターに事務局を置いて発足した人材育成事業。20~30代の若者を公募、復興リーダーや福島の課題を解決する起業・社会起業家の育成をめざす。昨年度は1期生25人が受講、12月の最終報告会でそれぞれプロジェクトを提案した。今年度は2期目。キリンビールが資金協力している。

かつてない「東北の熱量」 力発揮できる場作り大事

【加藤】 大きなことが水面下、草の根で起きているようですよ。私は20年間、ETICの仕事をしていますが、東北が今のタイミングで起きている熱量はかつてなく高く感じます。